

「腫瘍動態制御セミナー」を開催

2015年3月6日

3月6日（金）にがん進展制御研究所棟4階会議室において、神戸大学大学院医学系研究科 准教授 西田満先生を迎え、「骨肉腫の進展におけるWnt5a-Ror2 シグナルの役割」と題して、がん進展制御研究所腫瘍動態制御セミナーを開催しました。

セミナーでは、Ror2遺伝子欠損マウスでの腎臓形成不全とそのメカニズムに関する成果、繊毛形成制御におけるRor2シグナル機構とその異常による骨肉腫の進展（浸潤や極性形成異常）に関する成果が紹介されました。いずれの成果も、Ror2に関する深みと厚みのある独自の研究成果であり、また、今後の展開も一層期待される内容でした。

セミナーには、所内外の研究者並びに大学院生ら約20名が参加し、活発な質疑応答や意見交換が行われました。



腫瘍動態制御セミナー



演者:

西田 満 先生

(神戸大学大学院医学系研究科・准教授)

演題:

**骨肉腫の進展におけるWnt5a-Ror2
シグナルの役割**

日時: 2015年3月6日(金) 17:00 - 18:00

場所: がん進展制御研究所 4階 会議室
(角間キャンパス)

西田先生はWntタンパク質/Rorファミリー受容体型チロシンキナーゼによるシグナル伝達経路に焦点を当てて、器官発生・形態形成のメカニズム、悪性腫瘍を含む疾患の発症・進展の研究を進めています。

セミナーでは、腎臓の形態形成、骨肉腫の浸潤・悪性進展におけるWnt/Ror系の役割と制御異常についてお話しさせていただきます。

連絡先: 松本邦夫(がん進展制御研究所・腫瘍動態制御 内線:6745)